

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年01月20日

計画の名称	安全・安心な暮らしを支える“富士”のみちづくり（防災・安全）												
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）							重点配分対象の該当					
交付対象	富士市												
計画の目標	安全で安心した豊かな生活を送れる社会の実現を目指し、交通安全施設等の整備、災害時の通行空間の確保及び道路施設の長寿命化を推進する。 ・歩行者、自転車と自動車が分離される道路整備を推進することにより、常時、災害時ともに安全な通行が可能な道路空間の確保を目指す。 ・舗装の劣化が著しい箇所を修繕することにより、安全・安心・快適な道路空間の確保と長寿命化を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,215	A	4,215	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値	最終目標値 (R5末)
1	歩道と車道を分離（簡易整備を含む）することにより、安全に通行できる道路延長の割合を52%から60%に向上させる。 改善が必要な道路延長のうち、歩道整備（簡易整備を含む）により安全に通行できる道路延長の割合を算出する。 利用者の安心度(%)=(安全通行可能な道路延長/改善が必要な道路延長)×100	52%	%	60%
2	自動車が安全に通行できる路面の健全度を43%から50%に向上させる。（※幹線道路における望ましい路面性状値(MCI=5.1以上)から指標を計測） 計画路線における健全な路面性状値(MCI=5.1以上)の割合を算出する。 路面の健全度(%) = Σ(対象路線MCI=5.1以上の延長) / (計画路線の総延長) × 100	43%	%	50%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		種別	種別	対象	間接		R01	R02				R03	R04	R05							
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
道路事業	A01-001	街路	一般	富士市	直接	富士市	S街路	改築	(都) 富士駅南口田子浦線	現道拡幅 L=290m	富士市	■	■	■	■	■	744		—		
	A01-002	街路	一般	富士市	直接	富士市	S街路	改築	(都) 五味島岩本線（岩松工区）	現道拡幅 L=368m 道路新設 L=130m	富士市	■	■	■	■		585		—		
	A01-003	街路	一般	富士市	直接	富士市	S街路	改築	(都) 五味島岩本線（四ツ家工区）	現道拡幅 L=420m	富士市		■	■	■	■	648		—		
	A01-004	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村道	修繕	(1) 吉原沼津線（今泉）	舗装補修 L=0.3 k m	富士市	■	■				46		策定済		
	A01-005	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村道	修繕	(1) 吉原沼津線（比奈）	舗装補修 L=0.7 k m	富士市	■	■				112		策定済		
	A01-006	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村道	修繕	(1) 弥生線	舗装補修 L=0.9 k m	富士市	■	■	■	■	■	156		策定済		

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接		種別1	種別2				R01	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-007	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村	修繕	(1) 前田宮下線	舗装補修 L=1.0 k m	富士市	■	■	■	■	■	169		策定済
	A01-008	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村	修繕	(1) 吉原大淵線	舗装補修 L=2.0 k m	富士市	■	■	■	■	■	270		策定済
	A01-009	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村	修繕	(1) 田子浦鷹岡線	舗装補修 L=0.3 k m	富士市			■	■	■	69		策定済
	A01-010	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村	修繕	(1) 左富士臨港線	舗装補修 L=0.8 k m	富士市			■	■	■	218		策定済
	A01-011	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村	修繕	(1) 厚原込野16号線	舗装補修 L=2.0 k m	富士市		■	■	■	■	300		策定済
	A01-012	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村	修繕	(1) 富士鷹岡線	舗装補修 L=0.7 k m	富士市			■	■	■	111		策定済

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接		種別 1	種別 2				H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-013	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	点検調 査	(1) 臨港富士線ほか	点検調査 N=14橋	富士市	■					3		策定済	
	A01-014	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	交安	(2) 宝町高島線	歩道整備 L=220m	富士市	■	■	■				71		—
	A01-015	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	交安	(他) 川成島美土原1号 線	歩道整備 L=260m	富士市	■	■					40		—
A01-016	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	交安	(2) 本町四丁河原線ほ か	歩道整備 L=1,100m	富士市	■	■					63		—	
A01-017	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	交安	(他) 今泉踊場2号線ほ か	歩行空間 L=1.0km	富士市	■	■	■	■	■		250		—	
A01-018	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村 道	改築	(1) 吉原沼津線ほか	耐震対策	富士市					■	■	50		—	

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-019	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村	修繕	(1) 吉原沼津線ほか	舗装補修	富士市				■	■	160		策定済
	A01-020	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村	修繕	(2) 富士岡中里線	舗装補修	富士市				■	■	150		策定済
										小計						4,215			
											合計						4,215		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03	R04	
配分額 (a)	274	226	208	288	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	274	226	208	288	
前年度からの繰越額 (d)	0	70	106	79	
支払済額 (e)	204	190	235	281	
翌年度繰越額 (f)	70	106	79	86	
うち未契約繰越額 (g)	0	29	2	2	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	9.79	0.63	0.54	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

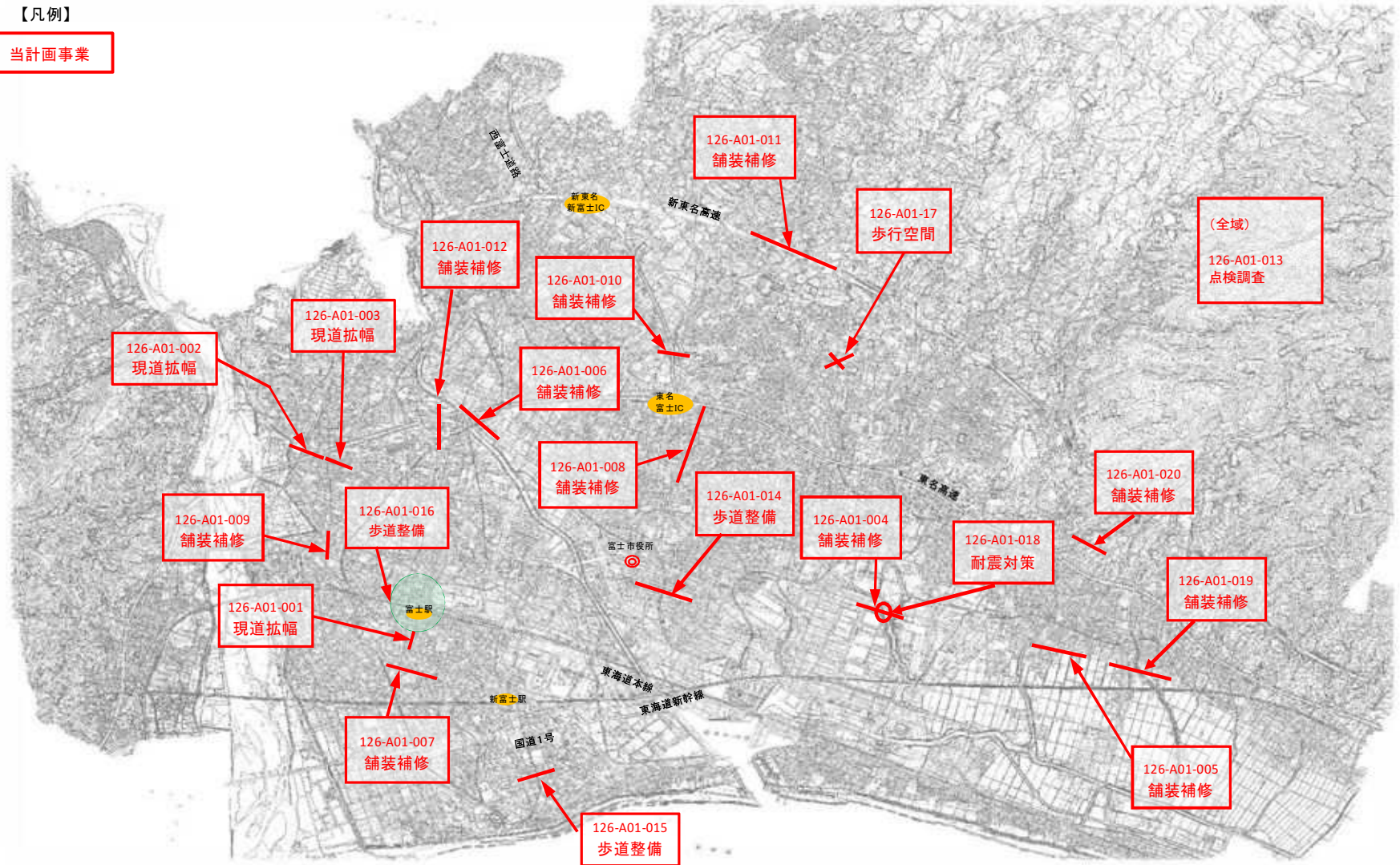
社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

参考図面

計画の名称	安全・安心な暮らしを支える“富士”のみちづくり（防災・安全）		
計画の期間	平成31年度 ～ 令和5年度（5箇年）	交付団体	富士市

【凡例】

当計画事業



事前評価チェックシート

計画の名称： 安全・安心な暮らしを支える“富士”のみちづくり（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○